



補習校便り

2025.5.24
No. 25—7
マイアミ補習校
校長 嶋中 直幸

地震・雷・火事・親父

怖いものと言えば、昔から「地震・雷・火事・親父」と言われてきました。地震はいつ起きるか分かりませんし、建物も破壊するし、津波も引き起こすしでとにかく一番恐ろしい。雷は、今は気象予報技術が伸展して雷雲の存在は分かりますが、どこに落ちるか分からないので二番目に恐い。火事は一切のものを焼き尽くしてしまいますが、初期段階だと消すこともまだ可能なので三番目に恐い。昭和生まれの私の親父は、怒るとちゃぶ台をひっくり返してまるで嵐が過ぎた後のような状況を作り出すし、大声で怒鳴って雷は落とすし、とにかく怖い存在でしたが、肉親ということもあり最後は分かりあえるのでとりあえず四番目。まあ、今の時代のお父さん方は、“親父”と言うよりは“優しいパパ”といった感じで、幾分恐さは和らいているのでしょうか。一説によると、「おやじ」は「大山嵐（＝台風）」のことだということです。そうであれば、ここフロリダでは「おやじ（＝ハリケーン）」が一番恐ろしいということになりますね。

そのハリケーン襲来に備えて、先週は、マイアミ総領事館と連携しまして「緊急連絡訓練」を実施いたしました。急なお願いにも関わらずご対応いただきました皆様に御礼申し上げます。

さて、5月17日には、火事を想定した避難訓練を実施しました。先生の言うことをよく聞いて、ハンカチを口にあて、姿勢を低くして避難している子どもが多くいました。真剣に取り組んでいたようです。避難場所で全体会を行い、訓練の振り返りを行いました。私の問いかけに対して子どもたちは、しっかりできていたと自己評価していました。最後に、マイアミ総領事館安全担当の中筋領事からご講評をいただき、訓練を終了しました。

ここフロリダでは地震はめったに体験しませんが、日本は地震大国です。最近では「南海トラフ」を震源とする大規模な地震の発生が懸念されております。夏休み



を利用して日本に一時帰国される方も多くいらっしゃると思います。地震が発生した場合は、机の下などにもぐって頭を守ることや、海や川沿いにいる時に大きな地震が起きたらすぐに高台に逃げることなど、基本的なことを知識として身に付けておく必要もあると思いました。

社会科教室の開催

5月3日から3週間にわたって、社会科教室が開催されました。普段は、国語と算数（数学）の二教科だけの学習ですが、保護者の皆様の希望で、毎年この時期、歴史と地理を隔年で学習する社会科教室があります。アメリカで日本の地理や歴史を対面で学習することはほとんどないと思います。社会科教室はマイアミ補習校の特色の一つにもなっています。

今年は、日暮先生を講師にお迎えし、日本の歴史を学びました。小学部4年から6年まで、計17名が参加しました。最近では、国語の教科書にも歴史的な文学作品が多く掲載されるようになりましたので、関連した話題が出てくると、子どもたちも興味津々の様子で学習していました。

意外なことに、戦国時代と並んで、「昭和時代のことをもっと多く学びたい」という感想が多くありました。今年は昭和100年。昭和も昔になりなけりですね。



連絡事項

- ◎ 5月24日は、全校朝会と保護者朝礼があります。3階集会室にお集まりください。
- ◎ 3階の階段近くに、これまでの**忘れ物**を展示しておきますので、もし、お子様の持ち物がありましたら、どうぞお持ち帰りください。衣服の忘れものがあります。残ってしまった物については、所有者なしということで処分させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
- ◎ 2時間目と5時間目（中学部は6時間目）に授業参観があります。子どもたちの頑張っている様子をご覧いただき、認め、励まし、自己肯定感を高める機会としていただきたいと思います。詳細は5月3日付文書をご覧ください。

マイアミ補習校欠席等フォーム

欠席・遅刻・早退などの連絡は、右のQRコードからできます。
どうぞご利用ください。

